

プロジェクト完成式



Colaboración del
Pueblo Japonés

2019年3月1日

3月1日、ハバナ県ボジェロス市にて、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「ハバナ県サンティアゴ・デ・ラスベガス HIV・エイズ患者総合センター給水設備改善計画」の完成式が行われました。式典には、藤村大使が、森田みどり書記官、竹森久美子委嘱員と共に出席し、被供与団体であるケア・インターナショナル・キューバのリチャード・パターソン代表のほか、エディ・ベタンクル ボジェロス市人民権力議会議長、オライダ・ビダブル サンティアゴ・デ・ラスベガス区議長、マリア・デル・カルメン・ベレラ 保健省国際協力局長、トマス・キンテロ サンティアゴ・デ・ラスベガス HIV・エイズ患者総合センター代表らが参加しました。



サンティアゴ・デ・ラスベガス HIV・エイズ患者総合センターは、ハバナ県ボジェロス市に位置し、1986年に設立されました。同センターは、255床の HIV・エイズ患者居住施設のほか、医療施設や研修施設などを有し、約300人の職員が治療・支援を行っており、キューバの HIV・エイズ対策において重要な役割を担っています。

本プロジェクトでは、国際 NGO ケア・インターナショナル・キューバに対し 79,988 ユーロを供与し、同センターの給水設備を整備しました。以前は設備の老朽化のため、十分な給水が行なわれていませんでしたが、プロジェクト実施後は、24時間水道の水を利用できるようになり、施設の衛生状況改善ならびに利用者の生活の質向上に貢献しました。

式典の後、藤村大使一行はこの施設の新しい給水設備などを視察して廻りました。



[藤村大使スピーチ文はこちら](#)

案件概要:

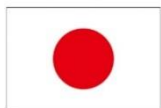
案件名:「ハバナ県サンティアゴ・デ・ラスベガス HIV・エイズ患者総合センター給水設備改善計画」

供与金額:79,988 ユーロ

被供与団体:ケア・インターナショナル・キューバ

概要:ハバナ県ボジェロス市サンティアゴ・デ・ラスベガス HIV・エイズ患者総合センターの給水設備の改修を行い、衛生状況改善と利用者の生活の質向上に資する。

プロジェクト・サイト



**Colaboración del
Pueblo Japonés**

開発協力班

在キューバ日本国大使館

Tel: (+53) 7204-3355, 7204-8904

cooperacioneconomicscuba@hv.mofa.go.jp